

● 三角港フェリーターミナル
(海のピラミッド)

MISUMI
HARBOUR FERRY
TERMINAL

三角港は、
島原へ向かうフェリーのターミナルとして
重要な拠点である。
現在のターミナルがある東港と反対側の西港は、
明治13年、
オランダ人ムルドルによって設計された
石造りの港として現在も使われている。
「海のピラミッド」は、
この歴史ある三角港のシンボルとして設計された。

Kumamoto Artpolis
K・A・P
くまもとアートポリス
熊本県 くまもとアートポリス事務局
熊本県建築課 〒862-8570 熊本中央区水前寺6-18-1
☎096-383-2537

海からアプローチすると
三角の貝殻のような建築が
三角港に近づいたことを教えてくれるだろう。





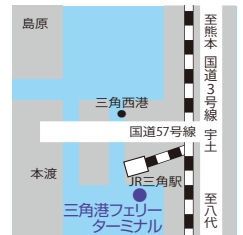
● 建築概要

三角港フェリーターミナルは、巻貝と同じように内外の二重螺旋のスロープの床版によって連続的に補強されたコンクリート外殻構造で、直径34m、高さ25mの円錐型である。

円錐頂部のトップライトは、自然光を導入し、夜間は逆に発光して、コンクリートのフレームを照らす。歴史ある港のランドマーク、まち起こしのシンボルとして視覚的に認識され、エンドレスの二重螺旋のスロープを上下して景観を楽しみ、また景観を形成する一つの環境装置としての機能をはたしている。

● 建築データ

名称/三角港フェリーターミナル
 所在地/宇城市三角町
 主要用途/待合所
 事業主体/熊本県
 設計者/葉 祥栄
 施工者 建築/岩永組
 電気/鉄田電設
 衛生/第一設備工業
 敷地面積/1,520㎡
 建築面積/865㎡
 延面積/1,052㎡
 階数/地上1階
 構造/鉄筋コンクリート造
 外部仕上 屋根/RC打放し
 外壁/RC打放し
 施工期間/1989年3月-1990年2月
 総工事費/320百万円



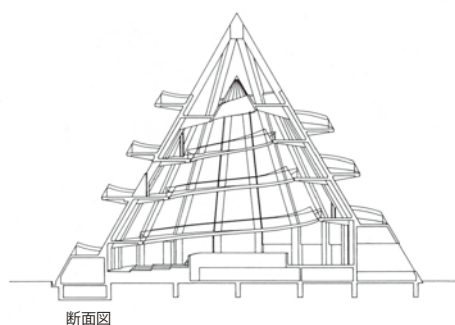
● 建築家プロフィール

葉 祥栄 (よう しょうえい)

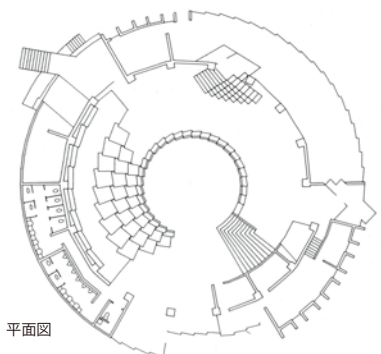
- 1940年 熊本市生まれ
- 1962年 慶應義塾大学経済学部卒業後、アメリカウィテンバーグ大学ファイン・アプライドアーツ奨学生
- 1970年 葉デザイン事務所設立
- 1992年 コロンビア大学客員教授
- 1995年 慶應義塾大学院教授

● 主な作品

- インゴット、光格子の家、木下クリニック、アスペクタ、小国町体育館、西部ガスミュージアム、老人保健施設サンダイヤル、筑穂町健康福祉総合センター ほか
- 1983年 毎日デザイン賞、日本建築家協会新人賞
- 1989年 日本建築学会賞 (小国町における一連の木造建築)
- 1993年 IAKS (国際余暇スポーツ施設賞) ゴールドメダル
- 1994年 BEHEDICTUS AWARD FINALIST
- 1994年 福岡市文化賞
- 1998年 福岡県文化賞(創造部門)



断面図



平面図